

情報基礎演習I(プログラミング)

第9回
6月22日
水曜5限
江草由佳

egusa-y@tsurumi-u.ac.jp
http://amazon.slis.tsukuba.ac.jp/~yuka/lecture/2005/basic/

1

お知らせ

- 前から4列目までの席に着席すること
- ノートパソコンを起動しておくこと
- 前回の授業資料や補足説明などは以下のWebページにあります。
 - <http://amazon.slis.tsukuba.ac.jp/~yuka/lecture/2005/basic/>
 - 先週までのところでわからないことなどがあれば適宜参照すること
- メールアドレス: egusa-y@tsurumi-u.ac.jp

2

お知らせ --これからの授業の予定--

- 6/22: 第9回
 - CHOSHAKENSAKUの途中まで
- 6/29: 第10回
 - 第3回レポート告示
 - CHOSHAKENSAKUの最後まで
- 7/6: 休講
- 7/13: 第11回 第3回(最終)レポート締め切り
- 7/2?: 教務課にてレポート返却

3

先週のまとめ

- HYOJI2の作成
 - VBで作成されるファイルの説明
 - 既存のファイルを利用
 - Form1.vbを削除
 - HYOJI.vbを挿入
 - HYOJI2.vbに名前を変更
 - Module1.vbを挿入
 - 画面のプロパティの変更
 - プログラムの変更
 - 保存・実行・動作確認

4

本日のお品書き

- レポートの講評
- CHOSHAKENSAKU
 - 既存のファイル(HYOJI2)を利用
 - HYOJI2がちゃんと動くことを確認
 - Form1.vbを削除
 - HYOJI2.vbを挿入
 - CHOSHAKENSAKU.vbに名前を変更
 - Module1.vbを挿入
 - HYOJI2と同じ動作を確認
 - CHOSHAKENSAKUのバックアップ
 - 画面のプロパティを変更

5

レポートの講評(1) -- レポート評価 --

- 模範解答はWebページに載せてある
 - レポート評価の見方と基準
 - 良い - A: 必要要件をすべて満たしている
 - A: 些細な間違いがある
 - B: 抜けているものがある(プロパティ表など)
 - B: 抜けているものがある、
+ 提出日の記述がない/間違っている
 - 悪い - C: プログラムが抜けている
-
- 遅: 締め切りより遅れて提出したことをしめす

6

レポートの講評(2)

- 提出日を書いていない、間違っている
 - 減点多めになります、以後気をつけるように。
- プログラムがない
 - 特にModule1.vb
 - できているかどうかわからないので大幅減点になります。
- プロパティ表ができてない
 - EXCELを使って、自分でプロパティを変更した情報を記入して作成する
- プロパティ表にFormオブジェクトの記述がない
- プログラムリストにコメントがない
- プログラムリストに行番号がない
 - フロッピーにフォルダごとコピー(例: HYOJIフォルダ)して、402教室のパソコンを使えばできる。

7

レポートの講評(3)

- 第2回レポート複利計算
- 開始ボタンを押したときのプログラム解説
 - わかりやすい変数名をつけるようにしよう

```
' 「計算開始ボタン」をクリックしたら実行されるSubプロシージャ
Private Sub cmdSTART_Click(ByVal sender As System.Object, ByVal e As System.EventArgs)
    Dim GANKIN As Integer      '元金を整数型で宣言
    Dim NENSU As Integer      '年数を整数型で宣言
    Dim GOKEI As Integer      '元利合計を整数型で宣言
    GANKIN = txtGANKIN.Text    'キーボードから入力された元金を変数に代入
    NENSU = txtNENSU.Text      'キーボードから入力された年数を変数に代入
    GOKEI = GANKIN * (1.05) ^ NENSU '元利合計を計算し、変数に代入
    txtGOKEI.Text = GOKEI     '元利合計を表示
End Sub
```

8

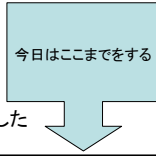
VIII テキストファイル中の著者を 検索して表示する アプリケーションの作成

- テキスト:p.30~ VIII
- プロジェクト名: CHOSHAKENSAKU
- この章では、データファイル中の特定の文字列があった場合のみ表示する方法を習得する。

9

CHOCHAKENSAKUプロジェクト 作成の流れ

1. HYOJI2の動作確認
2. 新しくCHOSHAKENSAKUプロジェクトを作成
3. Form1.vbを削除
4. HYOJI2.vbを挿入
5. CHOSHAKENSAKU.vbに名前を変更
6. Module1.vbを挿入
7. 確認
 - 保存・実行してみる(HYOJI2同じことを確認する)
 - 念のためバックアップを作成しておく
8. 画面のプロパティの変更(HYOJI2から変更した部分を変更)
9. プログラムの変更(HYOJI2から変更した部分を変更)
10. 保存・実行・動作確認



10

1.HYOJI2の動作確認

- HYOJI2プロジェクトの動作確認
 - HYOJI2プロジェクトがちゃんと動くことを確認する
 - 実行
 - 次へのボタンをクリックする
 - 開始ボタンをクリックする
 - 開始ボタンをクリックする
 - 次へのボタンをクリックする
 - CHOSHAKENSAKUプロジェクトに流用して利用するために必要
 - ちゃんと動かない、未完成、どこにファイルがあるかわからない場合は
<http://amazon.slis.tsukuba.ac.jp/~yuka/lecture/2005/basic/>
から、HYOJI2.vb, Module1.vbをダウンロードデスクトップにダウンロードする

11

2.新しくCHOSHAKENSAKUプロジェクトを作成(1)

- 新規にCHOSHAKENSAKUプロジェクトを作成する
- プロジェクト名: **CHOSHAKENSAKU**
 - プロジェクト名を勝手にほかのものに変えないこと!
 - アルファベット(半角文字)、大文字
- プロジェクトの保存先:
マイドキュメント¥情報処理演習¥CHOSHAKENSAKU
 - プロジェクトの保存先も変えないこと

12

3. Form1.vbを削除

- はじめからあるForm1.vbを削除する
1. ソリューションエクスプローラのForm1.vb上で右クリック
 2. 「削除」を選択
 3. 「OK」をクリック('Form1.vb'は完全に削除されます)

13

4. HYOJI2.vbを挿入

- HYOJI2プロジェクトの画面やプロジェクトを再利用するために、HYOJI2プロジェクトのHYOJI2.vbを挿入
- 「ファイル」→「既存の項目の追加」
- 「ひとつ上のフォルダへ移動」→「HYOJI2」をダブルクリック (HYOJI2がない人は、左の「デスクトップ」をクリック)
- 「HYOJI2.vb」をクリック
- 「開く」をクリック
- 「すべてを保存」

14

5.CHOSHAKENSAKU.vbに変更

- HYOJI2.vbからCHOSHAKENSAKU.vbに名前を変更してCHOSHAKENSAKU.vbだとわかりやすくする
1. ソリューションエクスプローラのHYOJI2.vb上で右クリック
 2. 「名前の変更」を選択
 3. 「CHOSHAKENSAKU.vb」と書き換えて「Enter」キーを押す

15

6. Module1.vbを挿入

- HYOJI2プロジェクトの標準モジュールを再利用するために、HYOJI2プロジェクトのModule1.vbを挿入
- 「ファイル」→「既存の項目の追加」
- 「Module1.vb」をクリック
- 「開く」をクリック
- 「すべてを保存」

16

7.確認(1) --保存・実行してみる--

- HYOJI2とまったく同じになっていることを確認
- 保存
- 実行
- 動作確認
 - 「開始」ボタンをクリック
 - 「次のレコード」ボタンをクリック
 - 「終了」ボタンをクリック

17

7.確認(2)

--バックアップをとる--

- バックアップをとる必要性
 - うまくいかなくなったときに、できたところまでにいつでももどれるようにするため
- CHOCHAKENSAKUフォルダをコピーし、別の名前にしておく
 - マイドキュメント¥情報基礎演習Iを開く
 - 「スタート」→「マイドキュメント」
 - 「情報基礎演習I」をダブルクリック
 - 「CHOCHAKENSAKU」を右クリックし、「コピー」をクリック
 - 右ボタンをクリックして「貼り付け」をクリック
 - 名前を「コピー~CHOSHAKENSAKU」から「CHOSHAKENSAKU_0622」に変更する

18

8.画面のプロパティの変更(1)

- HYOJI2プロジェクトとCHOSHAKENSAKUプロジェクトの違い
 - ラベルが3個とテキストボックス2個増えた
 - 書名読み、著者1読み、著者2読みのラベルとテキストボックスが減った

19

8.画面のプロパティの変更(2)

- 追加するオブジェクトのみのプロパティ表

オブジェクト	プロパティ	値
Label	Name	lblSETUMEI
	Text	著者名を入力して開始ボタンをクリックしてください
Label	Name	lblKEY
	Text	探している著者名は(ローマ字で読みを入力)
TextBox	Name	txtKEY
	Text	(空欄)
Label	Name	lblCOUNTER
	Text	カウンタ
TextBox	Name	txtCOUNTER
	Name	(空欄)

20

本日のまとめ

- レポートの講評
- CHOSHAKENSAKU
 - 既存のファイル(HYOJI2)を利用
 - HYOJI2がちゃんと動くことを確認
 - Form1.vbを削除
 - HYOJI2.vbを挿入
 - CHOSHAKENSAKU.vbに名前を変更
 - Module1.vbを挿入
 - HYOJI2と同じ動作をすることを確認
 - CHOSHAKENSAKUのバックアップ
 - 画面のプロパティを変更

21